

窓 回 転

民放テレビに「忘文」

という番組がある。日曜朝の早い時間の番組だからご覧になる方は少ないかも知れない。早起し

た際などに時折見る▼忘文(わすれ

ぶみ)とは、中国の故事「忘草」に

由来し、それを読むと日頃の憂いを

忘れさせてくれる文のことをいうの

だそうだ。ラブレターや友人、親な

どへの感謝の手紙などがそれ。SM

APの稲垣吾郎さんの朗読がいい▼

しばらく前のその番組で、芥川龍之

介が婚約者の塚本文に宛てた手紙を

朗読していた。「侏儒の言葉」を

しあの神経のはりつめた文体の小説

を書いた芥川が、婚約者にはこんな

にも甘くやさしい言葉をかけていた

のかといささか驚いた▼「…もう遅

いから(午前一時)やめます。文ち

ゃんはもうねてゐるでせう。(中略)

もしそこにボクがあたら、いい夢を

見るおまじなひに、そつとまぶた

の上を撫でてあげます」。芥川25歳。

その前年に「僕は文ちゃんが好きで

す。それでよければ来て下さい」と

求婚の手紙を送っていた▼あす27

日、六本木ヒルズ展望台・東京シテ

ィビューで「プロポーズの言葉コン

テスト」(NPO法人地域活性化支援

センター主催)の授賞式がある。最

優秀賞は「今ならもれなく一生幸せ

保証付きでお買い得です！」といつ。